

## 「ボボジョン・ガフロフ郡中央病院医療機材整備計画」 引渡し式

10月13日、相木大使は、首都ドゥシャンベ市の北北東約200kmに位置するボボジョン・ガフロフ郡を訪問し、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」で実施された、同市中央病院医療機材整備プロジェクトの引渡し式に出席しました。

本計画で我が国政府102,636米ドルをボボジョン・ガフロフ郡中央病院に供与し、新しい医療機材一式が整備されたことにより、より正確な健診が可能になるとともに、より安全な分娩処置が可能になりました。

相木大使は引渡し式の挨拶で、保健・医療分野は日・タジキスタン二国間協力において特に重要な分野の一つであり、この支援がタジキスタンの持続可能な発展につながり、日本とタジキスタンの友好が強化されることを願っていると述べました。これに対して、ファリドゥム・ホミゾダ ボボジョン・ガフロフ郡副郡長、及びムロドジョン・ジュラエフ ボボジョン・ガフロフ郡中央病院院長らからは、日本政府及び日本国民からの支援に対して謝意が表明されました。

タジキスタンでは、1996年から今日まで、草の根・人間の安全保障無償資金協力として合計459件、総額約3,805万ドルに上るプロジェクトが実施されています。

